

医療法人せいざん 介護老人保健施設あおやま
あおやま通信

九月になってもまだ残暑が続いておりますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

当施設では基本的に常時空調を入れておりますが暑さを感じる人、寒さを感じる人など感じ方がバラバラという事で色々としんどさを感じております。

今後、施設側よりカーディガンなどの羽織り物を持ってきていただくようお願いする事があるかと思いますが、その際にはご協力の程お願いいたします。

それでは、まだしばらく残暑が続くようですが、ご自愛くださいませ。

レクリエーション



紙相撲の様子です。はっけよーいのこった！のかけ声、決着すると「寄り切りだ」など決まり手を言われた利用者様が笑いを誘っていました。



勝負事は白熱します！



利用者様と共に作る魚釣りの魚はどんどん増えています。裏には点数があり、合計点を競います！



カープ観戦

技能実習生さんをカープ観戦に招待しました。

たくさん写真を撮り応援も周りのかけ声に合わせて行い満喫！



手芸クラブでは中庭で育てている花々を飾る額などを制作。



栄養課便り

猛暑もようやく過ぎ去り、秋風の心地よい時節となりました。

9月にはお月見といわれる美しく明るい月を眺める行事があり、「十五夜」ともいいます。その年によって十五夜の日には変わっています。

十五夜のお月見が広まったのは平安時代で貴族たちが船の上で詩歌や管弦を楽しむものでしたが、江戸時代に入ると収穫祭や初穂祭の意味合いが強くなり、無事に稲を収穫できた喜びを分かち合い、感謝する日になったそうです。

お月見のお供えものには秋の七草の一つでもあるススキ(悪霊や災いなどから収穫物を守り、翌年の豊作を願う意味)、月見団子(月に見立てたお団子をお供えすることで、月に収穫の感謝を表す)、秋の収穫物の代表として豆・芋・栗などがあります。 管理栄養士 稲原 彩水